



こんにちは、 岡田よしひでです

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

2021年4月25日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.79

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

農業振興について

私は、2月定例会で県農政と10年ぶりの中山間地域調査について質問しました。

まず、農水省に続いて昨年12月に消費者庁が調査に入ったコメ偽装問題でのJA高知県の信頼回復の取り組みをどう受け止めているか。また、県として、食の信頼回復にどう取り組むのか聞きました。

西岡農業振興部長は、JA高知県では本県の農産物の多くを取扱い県内外の消費者に届けておられることから県としても一刻も早い信頼回復に努めたいと考えております。このため偽装販売が発覚後にJA高知県の役員に対し、食品表示違反となる事例やそのリスク、加えてコンプライアンス(法令順守)の



県議会定例会 3月9日

重要性についても研修を実施致しました。また、この1月にはJA高知県だけではなく食品を取り扱う県内の事業者の現場担当者に対しまして食品表示に関する法令順守を徹底するとともに、食品表示の知識を一層深める研修を実施したところです。JA高知県には引き続き食の信頼回復に取り組んでいたいただきますとともに、県としても定期的に報告を求めて状況を確認してまいります。と答えました。

次に、本県の主力園芸作物の一つであるシシトウの値段が12月、1月と約半値に下落し農家が困っており、県の独自の支援を求めました。

農業振興部長は、生産者のセーフティネットとして野菜価格安定制度などがあります。生産者への野菜価格安定制度の補給金の支払いについては、特に影響のあったシシトウでは、昨年の1月から12月分は3月から開始をされ、今年の1月から3月に影響のあった分は6月から開始がされる予定です。県としては、すべての生産者がなんらかのセーフティネットに加入していただきますよう、JAグループや市町村とも連携しながら未加入の生産者に入入を促してまいります。また、今後も価格動向に注視しながら新型コロナウイルス

ルス感染症拡大の影響が長期的に続く場合には、影響のある品目への必要な支援を検討します。と答えました。

営業時間短縮臨時交付金を拡充

新型コロナウイルス感染症が拡大したことを受けて、昨年12月の売り上げが前年同期の30パーセント以上減少している場合、法人には申請1件当たり40万円、個人事業主には申請1件当たり20万円の給付金を支給していますが、県はこの支援策を今年1月に30パーセント以上売上減少の場合にも適用するよう拡充しました。間接的に影響を受けた事業主も申請可能です。締め切りは5月末までです。

おむすび通信(79)

共産党議員団は22日、県コロナ条例案を発表しました。これからホームページや返信ハガキ付きチラシでパブリックコメントを求め、6月定例会に提出します。すでに他党案が発表されており、両案についての議論採決となります。共産党案は、県が社会的検査の推進に必要な措置を講じることを盛り込んでいます。ご意見をお寄せください。